

オプトアウト文書

西暦 2020 年 3 月 10 日

「アプリを用いた母子手帳に関するアンケート調査研究」に参加される対象者および
保護者の方へ（臨床研究に関する情報）

母子愛育会愛育研究所では、以下の臨床研究を実施しております。この研究の実施にあたっては、当院倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。なお、このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 「アプリを用いた母子手帳に関するアンケート調査研究」

[研究機関名・長の氏名] 母子愛育会愛育研究所 竹田 省

[研究責任者名・所属] 母子愛育会愛育研究所 竹田 省

[研究の目的]

日本にて母子医療向上、健康増進のため母子手帳が考案され、現在、世界各国で導入、普及している。日本で使用されている紙ベースの母子手帳に関する現在の妊婦や産婦、パートナーの意識調査や、将来の使用に向けて検討されている電子母子手帳に関する意識調査を行い、今後の母子手帳の改定や電子化に向けての情報を収集することを目的に研究を企画した。

[研究の方法]

1. 対象

公益法人日本産科婦人科学会の妊産婦向け広報誌である「Baby プラス」のアプリをダウンロードした全国の妊婦、産婦の利用者約 13 万人が対象

2. 利用する情報

携帯スマートフォンアプリからの情報

3. 調査実施時期

倫理審査委員会承認日より 2020 年 7 月 31 日まで

4. 研究期間

研究を行う期間は、倫理審査委員会承認日より 2020 年 12 月 31 日まで

5. 共同研究機関

母子愛育会総合母子保健センター

母子愛育会愛育クリニック

立川保健所

甲南女子大学

NTT 東日本関東病院

東京大学小児科

オプトアウト文書

6. 個人情報の管理について

アンケート調査参加の方に情報を公開し、研究参加の拒否、撤回ができるようにしています。

また、個人情報漏洩を防ぐため、本研究では個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化管理などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。さらに、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

7. 医学・看護学上の貢献

本研究により対象者となった方が直接受けることができる利益はありませんが、研究成果は将来、より使いやすい母子手帳の改善、改良につながり、その結果、周産期医療の向上、母子健康や発育増進につながる可能性が高いと考えます。

8. 個人情報の利用について

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の方の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する個人情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は収集いたしません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者となった方を特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。
(研究に協力されない場合も不利益等の影響はありません。)

[連絡先・相談窓口]

〒106-8580 東京都港区南麻布 5-6-8
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会愛育研究所
事務担当 山口・齋藤
kenkyukikaku@aiku.or.jp
TEL: 03-3473-8311